


あゆのさと

第1号

社会福祉法人五色会

 障がい者支援センター
あゆの里

〒861-4617
熊本県上益城郡甲佐町津志田 2472 番地
TEL 096-234-4311 FAX 096-234-4308
<http://www.ayuno-sato.jp/>



社会福祉法人五色会理事長

荒瀬 一巳

障がい者支援センターあゆの里は平成5年4月1日
にあゆの里学園として産声を上げ、本
年3月31日をもって25年が経過いた
しました。

これも一重に皆様方のご協力とご
支援の賜だと感謝いたしております。
25年経過という節目を迎え、利用者
のご家族をはじめ、より多くの方々に
あゆの里を知ってもらうために広報
誌を刊行することにいたしました。

さて、あゆの里の開所以来、障害福
祉の動向も大きく変化いたしました。
まず。

開所当時は、サービス利用の方式が
措置でしたが、平成9年の介護保険法
の成立を嚆矢として、平成12年の社会
福祉基礎構造改革後、障害福祉サービ
スも契約方式へと大転換を遂げまし
た。そして、平成17年には障害者自

私たちの使命 (ミッション)

あゆの里は障がい者の多彩な
未来を支援します。
～ 未来創造 ～

基本理念 (開所依頼の理念)

自立支援、福祉職員として自己
研鑽、地域社会への貢献

私たちの経営理念

人は生涯発達、生涯成長するとの
視点に立ち、障がいをお持ちの方々の
関係の主体性を形成するとともに、
職場を職員の成長の場とし、あゆの
里に集う人たちの幸せを実現します。

行動指針

3 C

- 創造 (Creation)
- 変革 (Change)
- 挑戦 (Challenge)

3 K

共感、感動、感謝

プラス1

他者への気遣い、配慮

立支援法へ、さらには平成24年には障
害者総合支援法が成立いたしました。
私たちは、このような動向を機敏に
察知するとともに、社会の変化に対応
できるように、利用者主体を念頭に置
き、障がい福祉サービスの質の向上を
目指していきたいと考えています。

とりわけ、措置から契約への転換
は、利用者が自由に施設を選択するこ
とができるようになり、私たちにとつ
て、利用者の方々から選ばれる施設創
りが必要になったと言えるでしょう。

そこで、これらの時代の要請に対応
すべく、昨年8月(本年3月一部改定)
にこれまでの基本理念を補足する運
営基本指針を左のように定めました。

運営基本指針にも示していると
り、「あゆの里は障がい者の多彩な未
来を支援します」を私たちのミッシ
ョンとして、質の高い支援を展開して
いきたいと考えております。

どうかこれまでと変わらず、ご支援
のほどよろしくお願いいたします。



障がい者支援センターあゆの里施設長

福島 正剛

本年度から、障がい者支援セ
ンターあゆの里の広報誌あゆの
さとを刊行することといたしま
した。これは、当施設の利用者のご家族の方々をはじめ、
関係者の皆様方に当施設の行事や催し物などのいろん
な情報を発信し、当施設への御理解を深めてもらうこと
にも、当施設への関係性、絆をより強いものとするこ
とにあります。

当施設の情報については、昨年の秋以降、既にSNS
により発信しているところですが、今回、さらに広報誌
というツールにより、これを強化することといたしました。

さて、障がいをお持ちの方々の未来が決して閉ざされ
たものであつてはならない。それぞれの個性に応じた多
くの選択肢がある未来、生き活きと輝く未来であらねば
ならないと思ひます。そこで、私たちの使命(ミッシ
ョン)として、「あゆの里は障がい者の多彩な未来を支援
します」としました。そして、生涯発達心理学に依拠し
て、人は生涯発達、成長していくとの人間観に立脚する
ことといたしました。さらに、社会は多くの人と人との
織りなす関係によって成り立っていることから、支援の
目標として関係の主体性を形成することとしました。ま
た、これらのことを実現するため、職員は、楽しみや遊
びの要素を取り入れながらアートフルなあゆの里を創
っていくCreation、現状を変革するChange、常に新し
いことに挑戦するChallengeの3C、共感、共感、感謝
の3K、そして、ケアの理念を体現した他者への気遣い、
配慮を行動指針といたしました。

私たち職員は、利用者の皆様のニーズに応じたより質
の高い支援を行い、幸せを実現するとともに、職員自身
も働きたいのある職場づくりを目指していきたいと考
えております。

どうか、皆様方におかれましては、折々のご協力、ご
支援をよろしくお願いいたします。

障がい者支援センター あゆの里

【施設入所・生活介護・定員36名】
【短期入所・空床型】

障がい者支援センターあゆの里では施設入所、生活介護、短期入所のサービスを行っています。自主的に日常生活を送れるように、日常生活の自立を目指す為の支援及び介助を行い健康状態の維持向上を図ります。日中活動では利用者のさまざまなニーズ、能力、適性、性別、年齢等に考慮し生産活動の提供（フルーツキャップ等）、年齢に応じた機能訓練の場の提供、充実した日常生活の実現を目指してまいります。



ワークセンターあゆの里

【就労継続支援B型・定員25名】

ワークセンターあゆの里では、花苗や野菜苗の生産、木工小物製品の製作、サッシ部品加工や野菜の皮むき等、利用される方の希望や特性に合わせた多種多様な作業の提供を行っています。又、就業能力や工賃の向上をめざし、地元企業様と提携して施設外支援や施設外就労を実施しています。それらの活動を通して、出来る事を少しずつ増やしていくよう支援を行っています。





グループホーム事業所では現在8か所のグループホームで30人の方が生活しています。8か所のグループホームは昨年7月より運営を開始。新築のグループホームで楽しく生活をされています。余暇活動としてはうきうき楽しむ会の旅行や忘年会・買い物支援などを行い入居者が安全で安心して楽しく生活できるように支援をおこなっています。

あゆの里 グループホーム事業所 (共同生活援助・定員33名)

障害者地域生活支援センター かけはし

【スタッフ紹介】

相談支援専門員・センター長
本田相談員



一般相談

障害を持った方の悩みや相談と一緒に考えていきます

相談支援専門員
安藤相談員



計画相談

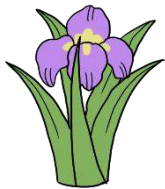
障害を持った方の福祉サービス利用に係る手続きをお手伝いしています

虐待防止センター連携専門員
滝田相談員



上野城圏域
障害者虐待防止センター

障害を持った方が安心して暮らせるように虐待に係る相談や通報を受け付けています



相談支援業務をおこなっており、地域の障がい福祉に関する様々な問題について、利用者・介護者からの相談に応じ、必要な情報の提供、助言をおこなうと共に、基本相談・指定特定相談（サービス利用計画）・地域定着・地域移行に関する支援について、市町村及びサービス事業者等との連携調整をおこない、みなさまが気軽に相談できる場として取り組んでいます。

地域生活支援センター 「かけはし」 (相談支援事業所)

SNS やってます!

ツイッター



フェイスブック



インスタグラム



ライン



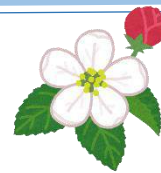
あゆの里では各種SNSで情報発信を行っています。ぜひご覧になってください。

あゆの里ホームページ





あゆの里の12か月



2月 節分



1月 どんどや



7月 あゆ祭り



3月 初市



4月 緑川河川清掃



8月 バーベキュー



8月 ワークキャンプ



9月 旅行



11月 ふれあい感謝祭



12月 クリスマス会



編集後記

元号が平成から令和へ。そして創立25周年を迎えあゆの里にとっても節目となる今。広報誌「あゆのさと」第1号刊行です。この大役に担当一同戸惑いと不安の中、どうにかこうにか完成することが出来ました。今後ともあゆの里の活動の様子や魅力を、もっとたくさんお伝え出来るよう、誌面を充実させていきたいと思えます。ホームページ、SNSとあわせて、皆さまのご意見、ご感想をお聞かせください。

(係)

12月 もちつき

